

## 講演会「火焰土器の履歴書」

カタチ、文様の激しさ、荒々しきで岡本太郎を文字通り“ドキッと”させた、火焰土器。今回の特別展示「アルケオメトリアー考古遺物・美術工芸品を科学の眼で透かし見る一」では、火焰土器を大きな柱の一つとして取り上げました。その内容は、とかく注目される外見についてではなく、火焰土器の年代、製作技法、煮沸内容物といった、いつ、どのように作られ、どのように使われたのかといった本質について迫るものです。本講演会は、展示内容を解説しつつ、火焰土器にまつわるさまざまな研究成果を紹介することを趣旨としています。

日時：平成24年3月24日 13:00～17:00

会場：東京大学総合研究博物館 7F ミューズホール

※事前予約は必要ありませんが、先着順とさせていただきます。

### 演題とスケジュール：

13:00～13:05 挨拶、趣旨説明 吉田邦夫（東京大学総合研究博物館）

13:05～13:50 「火焰土器とその時代」 寺崎裕助（新潟県立歴史博物館）

13:50～14:35 「火焰土器の年代」 吉田

14:35～14:50 休憩

14:50～15:35 「火焰土器の作り方」 宮尾 亨（新潟県立歴史博物館）

15:35～16:20 「火焰土器の使い方」 宮内信雄（十日町市教育委員会）

16:20～17:00 「討論および座談会」 司会：西田泰民（新潟県立歴史博物館）、寺崎、宮内、宮尾、吉田